

Hope 希望を持ち
Only one かけがえのない自分を磨き
Try 未来に向けて努力する
勉強にスポーツに「熱く」なる場所
一人ひとりの「ほっと」できる場所

太良高校 HOT通信

学校ホームページ



(QRコード)

スクールニュース



(QRコード)

通級指導成果発表会 開催

11月22日(火)大阪の滋慶医療科学大学大学院の岡耕平先生を講師にお迎えして、通級指導成果発表会を開催しました。県内最初の高校通級実施校としての本校の5年間の事例への指導助言と共に、『通常学級と通級指導とのつながり』と題した講演を行っていただきました。豊富なお経験と最新の知識に基づいた的確で分かりやすい助言と、常に生徒の視点で支援・指導を考える姿勢は100名を超える参加者に大きな反響を呼び、次年度開催を希望する声も多く寄せられました。昼休みには生徒もボランティアで参加して太良町の特産品販売が行われ、参加者には大変好評をいただきと共に、学校と町が自然に連携している雰囲気に「うらやましい」「素晴らしい」とのお声を多数いただきました。

講演をされた岡耕平先生



ボランティアの生徒たちが活躍した特産品販売は大盛況でした。



進路内定状況 66.7% (11月末現在)

本校の内定状況は、11月末現在で66.7%です。年度はじめ、3年生に話したことは、受験は「団体戦」であること、全員で、進路決定という目標に向かって、受験の雰囲気作りをし、お互い励まし合いながら、最後の一人が決まるまで頑張ろう、ということでした。

就職の場合でいうと、昨年度に比べ、本校に届いた求人票は増えています。だからと言って、単純に採用数が増えるわけではありません。目標を設定し、今後の学校生活をどうしたらいいのか考え、ぜひ、行動にうつしましょう。

- ①安易に欠席をしない(これから先は変えることができます)
②受験に備えて学習に励む(授業態度、課題提出状況、定期考査の取りくみ)
③コミュニケーション能力を高める(まずは、元気な挨拶から始める)
④凡事徹底(当たり前のことを当たり前に行える⇒簡単なことをできない人は、難しいこともできない)

(進路指導部)

薬物乱用防止教室

11月25日(金)に、佐賀県警察本部人身安全・少年課より三浦真二氏をお迎えして「薬物乱用防止教室」が行われました。ドラマや小説の中だけの話のように思われる薬物が実は身近なところにその危険が潜んでおり、違法薬物はもちろんのこと市販の医療用薬品も決められた用法・容量を守らずに用いると乱用につながってしまうことなどを学びました。シンナーを使った実験で

は、発泡スチロールが溶けていく様子を見て薬物が身体に及ぼす恐ろしさを目の当たりにしました。薬物の有害性や依存の恐ろしさだけでなく、社会に及ぼす影響についても話していただき、誘惑に負けない心を持つと強く思った講演会でした。



SNSリテラシーを学ぶ

11月29日(火)総探の時間、3年生を対象にSNSリテラシーに関する講話がありました。講師は、ふたば法律事務所の福田孝先生で、「とても危険なSNS~正しい使い方を学ぶ」と題してお話していただきました。私たちは、間違った使い方をすると危ない目に遭うと、何となくは分かっていますが、今日は、もっと具体的に詳しい内容を知ることができました。例えば、肖像権侵害の有無を判断するポイントは、撮影された人が特定できる画像かどうか、風景写真に偶然写り込んだのではなく、撮影された本人がメインとなって撮影されている画像かどうか、など、8項目を教えていただきました。また、自

分がSNS上で被害者になったときは、まず、スクリーンショットなどで保存。投稿日や投稿サイトが分かるもの、URLも保存し、加害者にたどり着けるようにしておくこといいということでした。SNSでのストーカー被害の場合は、一言も相手にせず、完全に無視することが肝心だそうです。便利さと、被害者・加害者にもなる危うさを持ち合わせているのがSNSです。肝に銘じて利用すべきです。



華道部 フラワーアレンジメント出品

11月20日(日)に、アバンセにて、佐賀県花づくり推進協議会主催で開催された「高校生フラワーアレンジメントコンテスト」に、華道部から2年生3人が出品しました。おもしろいアイデアにあふれた他校の作品を見ることができ、良い刺激になりました。また、会場には一般の方の作品も展示されており、多くのことを学ぶことができました。華道の楽しさを感じることができた良い体験となりました。



赤い羽根募金 活動報告 ~ご協力ありがとうございました~

10月31日(月)から11月11日(金)の2週間ほど、JRC部の活動の一環として『赤い羽根共同募金』活動を各クラスで行いました。お陰さまで3,359円集まりました。募金は福祉事業やボランティア活動資金等として活用されます。本当にありがとうございました。写真は「太良町社会福祉協議会」に伺って、JRC部長より募金を手渡した時のものです。

【JRC部部長コメント】
全校生徒の皆さんが協力してくださったおかげで、たくさんのお金を寄付することができました。このお金で一人でも多くの人が幸せになってくれると嬉しいです。



☆多ようこそ!! ★ふたつ星4047★☆☆

11月26日、27日の多良駅でのふたつ星歓迎に本校生徒ボランティア14名が参加しました。バームクーヘンの試食の手伝いをしたり、乗客の方の記念写真を撮ってあげたりと、賑やかに歓迎してくれました。



From NL

Vol. 10

レポーター 中尾 さん(平成25年度卒)
現在、オランダのエラスムス・ロッテルダム大学に在学中

今回は挨拶「ハグ」について、心理学からのアプローチです。

//// From /// Netherlands ///Vol.10/////

オランダからこんにちは

Vol.6で、オランダでの挨拶の習慣、ハグにちょっとだけ触れました。今回はそのハグについて紹介します。ハグ、日本語でいうと「抱擁」。なんだかちょっと日本人にとっては気恥ずかしい気がする言葉ですね。抱擁、という堅苦しい感じがしますが、ハグ、というもっと軽やかでカジュアルな気がするのは私だけでしょうか?オランダでは友人や家族、恋人など、親しい間柄の人たちで挨拶の代わりに行います。オランダの隣国、ベルギーに行けば、ハグとともに軽く頬にキスを3回するのだとか。地域によっては2回のところもあったり、左頬からキスか右頬からキスか...と色々と地域差があるようです。ちょっと混乱しちゃいますよね。幸いなことに(?)オランダではハグのみ。コロナの規制も

全てなくなったオランダではまたハグを当たり前にするようになってきました。そして、ハグにも種類があります。両腕でするハグ、片腕でするハグ...親しい間柄の中でも、親しさの違いによってどれだけ長くするか、どれだけ抱きしめるか、など、ハグのスタイルも親密さによって異なります。そして時々ハグがとっても上手な人に出会うことがあります。きつくもなく、かといってよそよそしいわけでもなく、ふんわりと優しさを分け合って、温かさを共有するようなハグ。会いたかったよ、会えて嬉しいよ、が身体を通して伝わってくるようなそんな数秒間。幸せを感じることが出来る瞬間です。ところで、このハグの幸せ、実は科学的にもいくつか証明されているのです。オランダでは大学で心理学を勉強している私ですが、生物心理学の授業では脳やホルモンの仕組みなどを学びました。その中で学んだ1つが「オキシトシン」。通称、愛情ホルモン(love hormone)もしくはcuddleホルモンと呼ばれています。cuddleは英語で、寄り添う、抱きしめる、などの意味があります。cuddle

ホルモンと言われるだけあって、ハグにはオキシトシンの分泌と関わりがあるのだとか。そして、オキシトシンはストレスの緩和や睡眠にも深く関わりのあるホルモンのように、オキシトシンの分泌はさまざまな健康に対するプラスの効果をもたらしてくれるようです。とは言っても、人体はとても複雑で壮大、オキシトシン=幸せ、など単純な公式ではありませんが、少しは伝わりましたでしょうか?ハグの素敵さ。大切だな、好きだな、という気持ちを抱きしめて表現するそのストレートさが、最初はこそばゆい気もしていたものの、今ではとても好きな文化でもあります。日本には日本の奥ゆかしき文化があることは承知ですが、皆さんもどうでしょう?1日に1回とは言わずとも、1週間に1回、「あなたが大切だよ」「嬉しいよ」「会いたかったよ」をハグで伝えてみませんか?もちろん、びっくりされてしまうかもしれないので、「ハグしてもいい?」の声かけからスタートするのがベストかもしれません。皆さんももしよければハグを体験してみてください。